

2024年度 展覧会スケジュール

土が開いた現代 革新するやきもの

4月27日(土)～6月30日(日)

20世紀後半の京都を中心に試みられた陶による多彩な表現は、現代日本の美術に大きな一角を占めています。当館コレクションから陶による造形の広がりをご紹介します。



林康夫《人体》1950 当館蔵

コレクション展2024-春

特集:小さくていいもの、あり

4月27日(土)～6月23日(日)

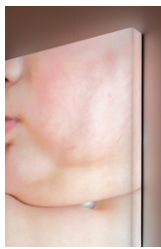


若山八十氏『変ないきもの』1961 当館蔵

なつやすみの美術館14 河野愛「こともの、と」

7月13日(土)～9月23日(月・祝)

あらゆる世代に美術館の楽しみ方を伝える展覧会の14回目は、河野愛(かわのあい)をゲストに迎えます。近年のシリーズ「こともの」を起点に、当館コレクションと組み合わせ、さまざまな「こともの/異物/異者」を考えます。



河野愛《こともの foreign object》2021
作家蔵 Photo:増田好部



河野愛《I》2021
作家蔵 Photo:堀井ヒロツグ

コレクション展2024-夏

特集:旅する美術

7月2日(火)～9月23日(月・祝)



川端龍子《芭蕉翁》1923 当館蔵

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展

仙境 南画の聖地、ここにあり

10月5日(土)～11月24日(日)

近代南画の展開と和歌山の風景表現に焦点をあてる展覧会を、田辺市立美術館と共同で同時開催します。しばしば中国古典に登場する「仙境」と重ねられ、江戸時代から文人たちの絵画や詩の主題となってきた和歌山の豊かな自然を見つめ直すとともに、それらに通じる清らかな南画の世界観をご覧ください。



桑山玉洲《玉津島與崖図》江戸時代後期 田辺市立美術館蔵



左:福田静處《秋江独釣図》大正期 当館蔵

右:矢野橋村《溢壑図》1930頃 当館蔵

コレクション名品選

10月5日(土)～12月22日(日)



浜地清松《厨房》1928 当館蔵

第78回和歌山県美術展覧会(県展)

12月11日(水)～12月15日(日)

第10回和歌山県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)

12月18日(水)～12月22日(日)

*2024年12月23日より改修工事のため休館となります。(2025年春より開館予定)

*掲載用画像については広報担当にお問合わせください。文字のせ、トリミング等をご遠慮ください。

*予定が変更となる可能性があります。最新の情報はホームページなどお知らせいたしますので、ご確認ください。

月映 つきてるつちにつどいたるもの

10月5日(土)～11月24日(日)

1914年9月、3人の美術学生、田中恭吉・藤森静雄・恩地孝四郎によって刊行された木版画と詩の作品集『月映(つくはえ)』。心の内面を見つめ、しずかに映しだすように生み出された珠玉の作品を、刊行から110年となるのを記念して一堂に展示します。



左:田中恭吉《五月の呪》1914 当館蔵
中:藤森静雄《あゆめるもの》1914 当館蔵
右:恩地孝四郎《望と怖》1914 当館蔵

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当:藤本 広報担当:村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>